

# かぶ

かぶは、でんぷんの消化酵素として働くアミラーゼを含んでおり、整腸効果の他に胃もたれや胸やけを解消する働きがあります。

## 9月の農作業

平成15年発行：  
JAハリマ「生き生き健康野菜づくり」より

# 雑草図鑑

## オヒシバ・ヒメムカシヨモギ

## 9月の農作業

### 作型

深い耕土で排水が良く、土壌水分の変化が少ない場所を選ぶ。また、風の強い場所は避ける。間引きを早目にして土寄せを行い、肥大を促進させる。収穫が遅れると、すが入ったり割れたりするようになる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
大かぶとり									○	○	■	■	早生大蕪・聖護院
小かぶとり 中かぶとり									○	○	■	■	とよしき・福小町・耐病ひかり・スワン

○：種まき ■：収穫

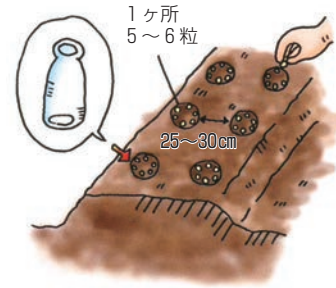
### 畑の準備・播種

土づくり a当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
醗酵鶏糞	20kg
畝立時施用	

- ・大かぶ 2条まき：畝幅120cm 条間40cm 株間25～30cm
- ・小かぶ 4条まき：畝幅120cm 条間20cm 株間12cm
- ・まき穴に2～3粒点まきする。(重ならないように)
- ・覆土後、軽く鎮圧する。

### 大かぶ

株と株の間隔を25～30cmにとって、1か所5～6粒ずつ点まきする。牛乳やペットボトルの容器の底で、所定の間隔にまき穴をつけてからまくときれいにまける。



### 間引き・追肥・土寄せ

- ・本葉1～2枚時：間引いて2本立ちとする。
- ・本葉4～5枚時：間引いて1本立ちとし、その後、野菜専用肥料5kg/aを施用し、株元に土寄せを行う。
- ・大かぶは1回目追肥の20日後、野菜専用肥料5kg/aを施用する。



### 防除

病虫害	耕種防除	薬剤防除
ア オ ム シ	幼虫の捕殺を行う	エルサン乳剤 1000～2000倍 30日前 2回
コ ナ ガ	防除ネットで覆う	エルサン乳剤 1000～1500倍 30日前 2回
キスジノミハムシ	早まきを避ける	モスピラン顆粒水溶剤 2000倍 21日前 1回

### 収穫

- ・目安：小かぶ5～6cm、中かぶ8～10cm、大かぶ12cm以上、大きくなったものから収穫する。
- ・穫り遅れるとすが入ったり、割れたりする。



小かぶ、直径5～6cm  
中かぶ、直径8～10cm  
大かぶ、直径12cm以上

小かぶの収穫  
秋まきで40～50日  
中かぶの収穫  
秋まきで50～60日  
大かぶの収穫  
秋まきで60～80日



### ■裂根

土の水分条件の変化が激しいとき、特に低温期から暖かくなりかけたときに多い。収穫が遅れても割れやすくなる。

### オヒシバ

日当たりのよい畑地や道端、空き地などに生育し、メヒシバと共に夏雑草の代表的な強害草のひとつ。強いひげ根を持っており、引き抜きがたく踏みつけにも強いので道端や庭などにもよく生育する。メヒシバに似るが、発生及び最盛ともメヒシバよりやや遅い。生育初期は地面に張り付くように広がるが、5～6葉期に分けつが始まる。茎は扁平で滑らかで、直立か斜めに立ち上がり草丈20～60cmになる。群生して大株になることがある。葉は先がややとがった線形で堅く滑らかで、葉の縁には長く柔らかな白毛がある。8～9月に茎の先に緑色の穂軸を掌状に出し、穂は上向きにつける。メヒシバに比べ丈夫でたくましいことから名付けられたといわれている。



オヒシバ(開花期)



オヒシバ(芽生え期)



オヒシバ(生育初期)

### 防除のポイント

株が大きくならないうちに中耕・培土作業で土中に深く埋め込むのも効果的である。除草剤は移行性の茎葉処理剤ラウンドアップマックスロード(作物によって使用方法が異なるため要確認)を生育期に散布する。

### ヒメムカシヨモギ

日当たりのよい畑や荒地、道端などにごく普通に生える越年草で、明治時代に渡来した北アメリカ原産の帰化植物。種子で繁殖する。秋に発生し、地表に広げた根出葉の状態越冬する。越冬中の根出葉は、紫色を帯びた濃緑色で葉柄は長く、切れ込みは浅い。翌春茎を伸ばし、生長すると高さ1～2mになる。茎には荒い毛が密生する。葉は互生し生長しはじめると切れ込みが深くなる。節間がつまって密につくが、茎の上部の葉にはほとんど切れ込みがなくなる。夏から秋にかけて茎の上部が枝分かれし、先端に小さな頭状花を多数つける。花は白色で長さ5mm前後の舌状花。花が終わると白い冠毛を付けた種子を作り、風により広範囲に飛び散る。



ヒメムカシヨモギ(開花期)



ヒメムカシヨモギ(舌状花)



ヒメムカシヨモギ(生育中期)

### 防除のポイント

種子からの発生を抑えるよう晩秋に耕起する。発生してしまった場合は、移行性の茎葉処理剤ラウンドアップマックスロード(作物によって使用方法が異なるため要確認)を作物に掛からないように散布する。

※農業使用の際は、使用方法・使用時期をよく確認して使用しましょう。